

平成30年12月4日

広報広聴委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 広報広聴委員会
- 2 日 時 平成30年12月4日(火) 11時27分開議
12時05分散会
- 3 場 所 第2委員会室
- 4 出 席 委 員 白石純一委員長、渡辺久治副委員長、西田数市委員、
竹原信一委員、仮屋園一徳委員、濱崎國治委員
- 5 事務局職員 議事係 大渡 昭裕
- 6 会議に付した事件
 - ・議会だより第200号(平成31年2月15日発行)について
 - ・団体との議員と語る会について
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

◎議会だより第200号(平成31年2月15日発行)について

白石純一委員長

ただいまから、広報広聴委員会を開会します。

本日の議題は市議会だより200号についてと団体との議員と語る会であります。

先ほどの全員協議会で全議員からアイデアを聞きましたところ、特に特集、200号ということについては議員からは意見は出ませんでした。この件について皆さんからの御意見をお願いします。

一旦休憩に入ります。

(休憩 11:28～11:38)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

特集の内容ですけれども、元議員や市民、こだわりませんけれども、インタビューを3、4人。議会に求めるもの、あるいは感想などをインタビュー形式でということと、これまでの200号を振り返って議会に関する市政のハイライトを取り上げるという主な2つの方向性でよろしいでしょうか。異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

それでは、この件についてはそのように決しました。

◎団体との議員と語る会について

白石純一委員長

次に団体と語る会ですけれども、今出た案は、外国人労働者を雇用されている事業者の方、またはその外国人労働者の方、

[発言する者あり]

それが1つ目の案。その1つは2つに分かれますけれども。2点目としては、障がい者、被養護者ですね、あるいは施設・団体。3つ目としては若手経営者とか農業・漁業の従事者、あるいは観光関係の方等の幾つかの団体から出てもらって横断的な意見交換を行って出してもらおう。その3つの案が出たと思いますが、皆さんの御意見を伺います。

濱崎國治委員

外国人労働者を雇うほうとしてはですね、いろんな課題になっていますので、交換をしてもちょうど時期的にもいいんじゃないかと思えますけれども、雇われているほうはですね、非常に難しいと思えますね。雇っているほうは当然時代に即応しておりますので。それと、人手不足が非常に深刻ですので、その辺も、そういう経営者の方々ですね、多分入り混じっているんでしょうが、そういう方とはぜひですね、したほうがいいんじゃないかなという気がします。

白石純一委員長

ほかの方は御意見ありませんか。

竹原信一委員

議会と対談するときですね、何が出てくるかというのと、とにかく補助金をくれとかね、そういう方向に行きがちなんです。相手を選ぶときに、もう出てくることは予想できるわけですから、私たち議会の中でそれについて一応調べたり議論したりした後でない

と、そうしましよと返事もできないし、あつちは期待する方向で走っちゃうと。どうもね、よくないんじゃないかと私は思いますよ。特に外国人労働者の件については、1つの業種に対して税金を投入する、その会社が儲かるようにしてやるというような話ですね、どうもね、住民の同意が得られそうな気がしませんけども、そこら辺は。

仮屋園一徳委員

相手もあることですので、するんであれば今のテーマで具体的にどのような人と、どのようなところとということまで話をしたほうがいいんじゃないですか。

白石純一委員長

ですから、今挙げた3つの候補の中で皆さんの意見を、どことやるべきかをお聞かせください。

[発言する者あり]

竹原信一委員

結局、私たちの勉強する機会ということになるのかな。向こうにしてみれば、市に対して要望するという形、意図が出てくるかと思うんですけどもね。

白石純一委員長

一旦休憩に入ります。

(休憩 11:45～11:58)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

では、今3つ挙げた外国人労働者の問題については、ちょっとまだ法案も通ってないし、時期尚早ではないかという意見もあります。したがって、2番の障がい者団体、あるいは施設の関係者との語る会。3番として多目的な団体の若手を中心に集合していただいて、意見交換及び提案をいただく。この2か3に絞りたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

では、決をとりたいと思います。

仮屋園一徳委員

決をとらなくて、2番、3番というふうに相手があることですから、2、3と決めてたほうがいいんじゃないですか。

白石純一委員長

2、3のいずれかで相手に打診をしてという、今、意見が出ましたけれども、それでいいですか。

濱崎國治委員

優先的なのをしてください。

白石純一委員長

では、2、3のうち、もちろん相手があることですから、優先順位は決めたいと思います。では、その優先順位の決をとりたいと思います。

今の2つのうち、2番、障がい者団体、施設関係者との語る会を優先すべきだと思う方は挙手をお願いします。

(挙手少数)

3番、多種の団体の若手との語る会を優先的に考えたいと思う方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

では、3番が多数でしたので、そのように決めます。

なければ、次回の委員会を、休憩に入ります。

(休憩 12:00～12:04)

白石純一委員長

委員会に戻ります。

次回の委員会を、12月14日、10時から開催したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

このほか、委員から何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上で広報広聴委員会を散会いたします。

(散会 12時05分)

広報広聴委員会委員長 白石 純一